

エコアクション21
環境経営レポート
(2022年度;2022. 4~2023. 3)

令和5年6月1日作成



株式会社 コーエイクリーン

(登記上本社) 東京都足立区神明南1丁目9番20号
(事務所) 埼玉県八潮市大字木曾根字上546番1
TEL 048-994-1153
FAX 048-994-1155

～ 目 次 ～

I	事業活動の概要	P1～8
II	環境経営方針	P9
III	環境経営目標とその実績	P10
IV	主要な環境経営計画の内容	P11
V	環境経営の取組み結果の評価	P12～13
VI	代表者による全体評価と見直し・指示	P14
VII	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P15

I 事業活動の概要

1.事業所名 株式会社 コーエイクリーン

2.代表取締役 渡部 潤也

3.所在地 本社： 東京都足立区神明南1-9-20(登記上の本社)

営業所： 八潮第1営業所

埼玉県八潮市大字木曽根字上546-1

八潮第2営業所

埼玉県八潮市大字二丁目1046

施設： 第1産業廃棄物中間処理場・産業廃棄物積替え保管施設

埼玉県八潮市大字二丁目下1072-1

第2産業廃棄物中間処理場・産業廃棄物積替え保管施設

埼玉県八潮市大字木曽根字上549-1

産業廃棄物積替え保管施設(船堀事業所)

東京都江戸川区船堀5-8-21

※実質的な本社機能は八潮市木曽根字上546-1の事務所にあるため、
登記上の本社は環境負荷チェックの対象範囲外としています。

4.連絡先 電話 048-994-1153

FAX 048-994-1155

5.事業の規模

1)資本金 1,000万円

2)社員数 38名

3)設立 平成13年9月17日

4)延べ床面積 3594.93m²

5)年間売上高 1,629百万円

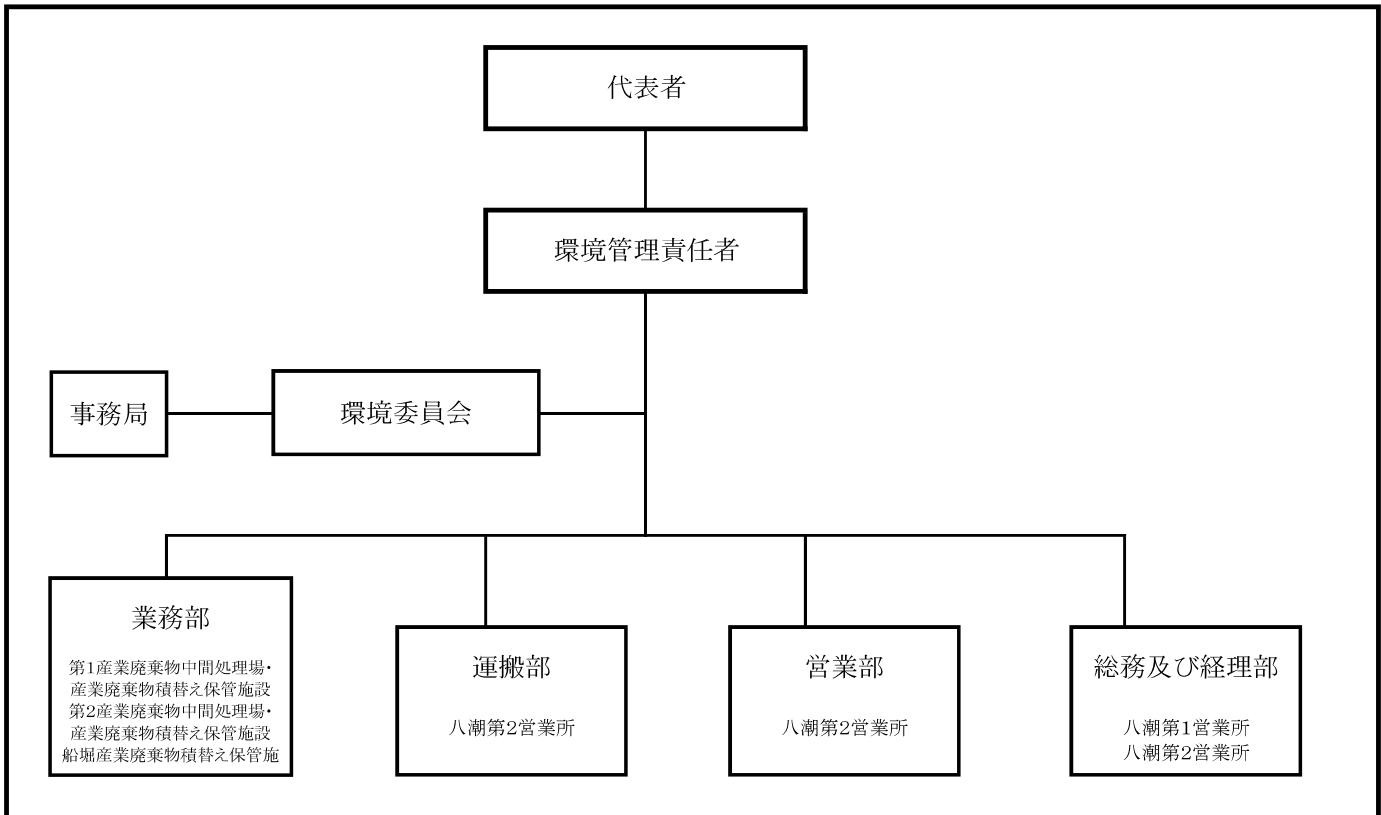
6)処理料金 見積による

6.環境管理責任者 二階堂 勇

7.組織図 別紙のとおり

8.対象範囲 全組織、全活動

環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	1. 環境経営に関する統括責任 2. 環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間技術者を用意 3. 環境管理責任者を任命及びエコアクション事務局の設置 4. 実施体制の構築 5. 経営における課題とチャンスの明確化 6. 環境経営目標の設定を承認 7. 代表者による全体の評価と見直しを実施 8. 環境関連法規等の取りまとめを承認 9. 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
環境管理責任者	1. 環境経営システムを構築し、実施し、管理する 2. 環境経営実施計画書を承認 3. 環境経営レポートの作成、管理マニュアルの作成、修正、見直し 4. 環境経営の取り組み結果を代表者へ報告
環境委員会 事務局	1. エコアクション推進の事務局 2. 環境経営目標・環境経営実施計画書/実績表の作成 3. 環境経営実施計画の実績集計 4. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
業務部 運搬部 営業部 総務及び経理部	1. 自部門における環境経営システムの実施 2. 自部門における環境経営方針の周知 3. 環境経営目標及び環境経営計画の実施、その達成状況の報告 4. 環境経営におけるチェックリストの記録・運用管理 5. 自部門の問題点の発見・是正・予防処置
全従業員	1. 環境経営方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 2. 環境経営システムへの自主的参加

9.事業内容

・産業廃棄物処理業(収集運搬業(積替保管)・処分業)及び一般廃棄物収集運搬業

- 1)産業廃棄物処分業
- 2)産業廃棄物収集運搬業
- 3)一般廃棄物収集運搬業

<令和4年度取扱実績>

25,075t

8,555t

1,146t

10.許可内容

1)産業廃棄物処分業許可

許可自治体	許可番号	許可年月日及び有効期限	事業の範囲 (取扱う産業廃棄物の種類)
埼玉県	01120081080号	令和2年3月25日 令和6年12月21日	事業地① 破碎: 廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず、がれき類 以上6種類
			事業地② 破碎: ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず(廃石膏ボードを除く。)、がれき類 以上2種類

<施設等の所在地>

事業地	住所
事業地①	埼玉県八潮市大字二丁目字下1072番1、1072番3 以上2筆
事業地②	埼玉県八潮市大字木曾根字上549番1、549番3 以上2筆

<処理施設>

事業地①

処理施設の種類	処理品目	処理能力	処理品目	処理能力
破碎施設	廃プラスチック類	4.57t/8h	ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず がれき類	10.96t/8h
	木くず	4.11t/8h		
	ゴムくず	14.39t/8h		3.88t/8h
	金属くず	10.28t/8h		

事業地②

処理施設の種類	処理品目	処理能力
破碎施設	ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず(廃石膏ボードを除く。)	52.96t/8h
	がれき類	78.40t/8h

<保管施設>

事業地①

処理品目	保管面積	保管の高さ等
廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず、がれき類	35.0m ²	1.3m
廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず、がれき類	31.2m ²	2.1m
木くず	27.0m ²	2.2m
ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず(廃石膏ボード)	6.0m ²	1.1m
ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず、がれき類	15.0m ²	1.0m
廃プラスチック類	8.0m ²	1.6m
金属くず	8.0m ²	1.6m
ゴムくず	1.5m ²	1.0m

事業地②

処理品目	保管面積	保管の高さ等
ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず(廃石膏ボードを除く)、がれき類	18.3m ²	1.0m
ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず(廃石膏ボードを除く)	50.0m ²	3.0m
がれき類	30.0m ²	2.0m

<処理工程>



2-1)産業廃棄物収集運搬業許可(積替え保管を含む)

許可自治体	許可番号	許可年月日及び有効期限	事業の範囲 (取扱う産業廃棄物の種類)
埼玉県	1110081080	令和4年2月28日 令和8年12月13日	<p>【取扱える産業廃棄物の種類】 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(*), 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず(*), 鉛さい、がれき類(*), ばいじん 以上16種類</p> <p>【積替え保管できる産業廃棄物の種類】 【事業場①】 廃プラスチック類(*) (石綿含有産業廃棄物に限る。)、紙くず、繊維くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず(*) (石綿含有産業廃棄物に限る。)、がれき類(*) (石綿含有産業廃棄物に限る。) 以上5種類</p> <p>【事業場②】 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず 以上5種類</p>

産業廃棄物の種類に(*)表示のある場合は石綿含有産業廃棄物を含み、表示のない場合は含まない。

<施設等の所在地>

事業地	住所
事業地①	埼玉県八潮市大字二丁目字下1072番1、1072番3 以上2筆
事業地②	埼玉県八潮市大字木曾根字上549番1、549番3 以上2筆

<積替え保管施設の面積、保管上限>

事業地①

処理品目	保管面積	保管高さ上限	保管量の上限
紙くず	6.0m ²	1.1m	3.7m ³
繊維くず	1.5m ²	1.2m	1.0m ³
廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物に限る。)、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物に限る。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物に限る。)	10.0m ²	1.6m	8.2m ³

事業地②

処理品目	保管面積	保管高さ上限	保管量の上限
廃プラスチック類	1.5m ²	1.2m	1.0m ³
紙くず	1.5m ²	1.2m	1.0m ³
木くず	1.5m ²	1.2m	1.0m ³
繊維くず	1.5m ²	1.2m	1.0m ³
金属くず	1.5m ²	1.2m	1.0m ³

<運搬車両の種類、台数>



車両の形状	最大積載量	台数
脱着装置付 コンテナ専用車	2000kg～11100kg	22台
塵芥車	2000kg、2100kg	5台
キャブオーバ	3300kg、6800kg	3台

2-2)産業廃棄物収集運搬業許可(積替え保管を含む)

許可自治体	許可番号	許可年月日及び有効期限	事業の範囲 (取扱う産業廃棄物の種類)
東京都	13-00-081080	令和3年12月3日 令和8年12月2日	<p>産業廃棄物の種類 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん(石綿含有産業廃棄物を含む) 以上16種類</p> <p>積替え保管できる産業廃棄物の種類 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類 以上7種類</p>

<施設等の所在地>

事業地	住所
事業地	東京都江戸川区船堀5丁目8番21号

<積替え保管施設の面積、保管上限>

処理品目	保管量	最大保管高さ	保管量の上限
廃プラスチック類	8m ³	2m	8.2m ³
木くず	33m ³	2m	33.5m ³
繊維くず(廃畳)	20m ³	2m	20.0m ³
ガラス・コンクリート・陶磁器くず (廃石膏ボード)	8m ³	2m	8.2m ³
がれき類	8m ³	2m	8.2m ³
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	49m ³	2m	49.9m ³

2-3) 産業廃棄物収集運搬業許可(積替保管を除く)

許可自治体	許可番号	許可年月日及び有効期限	事業の範囲 (取扱う産業廃棄物の種類)
千葉県	01200081080	令和3年12月28日 令和8年12月27日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物及び自動車等破碎物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず(自動車等破碎物を含む)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物及び自動車等破碎物を含む。)、鉛さい、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)、ばいじん 以上16種類
神奈川県	01401081080	令和4年3月9日 令和9年1月6日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず(石綿含有産業廃棄物を含む)、鉛さい、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)、ばいじん 以上16種類
栃木県	00900081080	令和4年7月9日 令和9年7月8日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む)、鉛さい、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)、ばいじん 以上16種類
群馬県	01000081080	令和4年3月15日 令和9年3月14日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉛さい、がれき類、ばいじん(廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類は、石綿含有産業廃棄物を含む。) 以上16種類
茨城県	00801081080	令和4年3月3日 令和8年12月16日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(自動車等破碎物及び石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず(自動車等破碎物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(自動車等破碎物及び石綿含有産業廃棄物を含む。)、鉛さい、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。) 以上15種類
長野県	2009081080	令和4年3月19日 令和9年3月18日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む)、鉛さい、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)、ばいじん(廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは自動車等破碎物を含む) 以上16種類
静岡県	02201081080	令和2年3月10日 令和7年3月9日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(石綿含有廃棄物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有廃棄物を含む)、鉛さい、がれき類(石綿含有廃棄物を含む)、ばいじん 以上16種類

2-4)特別管理産業廃棄物収集運搬業許可(積替保管を除く)

許可自治体	許可番号	許可年月日及び有効期限	事業の範囲 (取扱う産業廃棄物の種類)
東京都	13-50-081080	令和5年1月25日 令和10年1月24日	廃油(揮発油類、灯油類、軽油類)、廃酸(pH2.0以下のもの)、 廃アルカリ(pH12.5以上のもの)、 特定有害産業廃棄物 廃石綿等 以上4種類
埼玉県	01150081080	令和4年12月26日 令和9年12月25日	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類)、廃酸(pH2.0以下のもの)、 廃アルカリ(pH12.5以上のもの)、廃石綿等 以上4種類
神奈川県	01450081080	令和5年1月13日 令和9年12月20日	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類)、廃酸(pH2.0以下のもの)、 廃アルカリ(pH12.5以上のもの)、 特定有害産業廃棄物 廃石綿等 以上4種類
千葉県	01250081080	令和4年12月14日 令和9年12月11日	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業 廃棄物であるものを除く)、廃酸(水素イオン濃度指数2.0以下の ものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く)、廃アルカリ (水素イオン濃度指数12.5以上のものに限り、特定有害産業 廃棄物であるものを除く)、廃石綿等 以上4種類
群馬県	01050081080	令和5年1月7日 令和10年1月6日	廃油・揮発油等、廃酸・腐食性、廃アルカリ・腐食性、 特定有害産業廃棄物 廃石綿等 以上4種類

3)一般廃棄物収集運搬業許可

許可自治体	許可番号	許可年月日及び有効期限	事業の範囲 (取扱う一般廃棄物の種類)
<東京都> 葛飾区、江東区、江戸川区、港区、 荒川区、新宿区、足立区、台東区、 大田区、中央区、千代田区、中野区、 板橋区、品川区、文京区、豊島区、 墨田区、北区、世田谷区、目黒区、 渋谷区、杉並区	第1425号	令和4年4月1日 令和6年3月31日	普通ごみ、道路・公園ごみ
藤沢市	第1号	令和4年4月1日 令和6年3月31日	一般廃棄物(ごみ)

II 環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社コーディクリーンは、産業廃棄物処理業の事業活動をとおして、地球と地域の環境の保全に貢献します。



1. 環境経営に積極的に取り組むために、環境経営システムを構築し、この継続的な改善により環境負荷の低減に取り組むことを誓約します。
2. 環境への配慮として、特に次の事項に取組みます。
 - 受託廃棄物のリサイクル率向上
 - 事業活動におけるCO₂排出量および水使用量の削減
3. 環境に関する法律・規則・協定を遵守することを誓約します。
4. 環境経営システムの内容を、全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。

令和2年6月1日
 令和4年1月20日改定
 株式会社コーディクリーン
 代表取締役 渡部 潤也

III 環境経営目標とその実績



1. 二酸化炭素排出量の削減

- ・事業場の電気使用量削減
- ・収集運搬車両及び重機に要する軽油、ガソリン等化石燃料使用量削減
- ・車両待機所の使用による運搬車両のアイドリングストップ
- ・顧客営業時におけるエリア周辺のパーキング利用(パーク&ウォーク)
- ・照明の100%LED化

2. 水使用量の削減

3. 受託産業廃棄物のリサイクル率向上

- ・リサイクル率目標:50%以上

4. 近隣地域の清掃美化

- ・毎週月曜日朝、毎月10日、25日

5. 埼玉県緑のトラスト基金への継続的な寄付による地域貢献

- ・年1回

取組項目	令和元年度 【基準年度】		令和3年度 (参考)	令和4年度		令和5年度	令和6年度
	実績	実績		目標	実績		
①二酸化炭素 排出量削減	電気 使用量 ※	382,490kWh CO2量 201,190kg-CO2	目標比-8.3% CO2量 184,397kg-CO2	令和元年度 実績値を維持 CO2量 201,190kg-CO2	目標比-9.1% CO2量 182,967kg-CO2	基準年度比-5.0% CO2量 173,819kg-CO2	
	化石 燃料 使用量	615,090L CO2量 1,601,039kg-CO2	目標比-6.4% CO2量 1,479,581kg-CO2	令和元年度 実績値を維持 CO2量 1,601,039kg-CO2	目標比-4.4% CO2量 1,510,444kg-CO2	令和元年度(基準年度) 実績値を維持 CO2量 1,601,039kg-CO2	615,090L
	合計CO2 発生量	1,802,228kg-CO2	1,663,978kg-CO2	1,802,228kg-CO2	1,693,411kg-CO2	1,774,858kg-CO2	
②水使用量削減		1,625m ³	目標比-5.8% 1,530m ³	令和元年度 実績値を維持 1,625m ³	目標比-5.9% 1,529m ³	基準年度比-3.0% 1,576m ³	
③受託産業廃棄物の リサイクル率向上	55.0%	59.8%	50%以上	62.9%	62.9%	50%以上	
④近隣地域の清掃美化	7回／月	7回／月	6～7回／月	7回／月	7回／月	6～7回／月	
⑤埼玉県緑のトラスト基金 への継続的な寄付による 地域貢献	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	

※電気使用に伴う二酸化炭素の排出量の算出には、排出係数0.526kg-CO2/KWh を使用。

IV 主要な環境経営計画の内容

(1) 目標を達成するための取組み

① 二酸化炭素排出量の削減

<通年実施>

事務所 (担当者) 総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン・コピー機等のOA機器は省電力設定にして、夜間は電源を落とす。 ・空調時は温度保持のため、出入口のドアは開放しない。 ・エアコンの温度設定を守る。(夏:28°C 冬:25°C)
事業場 (担当者) 業務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の投入は、処分業許可の処理能力を超えないようにする。 ・破碎機の点検を励行し、維持管理に努める。
運搬車両 (担当者) 運搬部長	<ul style="list-style-type: none"> ・急発進・急ブレーキを避け、アイドリングをストップする等エコドライブを推進する。 ・始業点検を励行し、車両を適切に維持、整備する。 ・排ガス規制や騒音規制に適合した車両を導入する。 ・GPS配車システムによる緻密な運行管理により、運搬効率を最大限に高める。

② 水使用量の削減

<通年実施>

事務所 (担当者) 総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所の手洗い時、清掃時の節水を励行する。
事業場 (担当者) 業務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・粉じんの飛散防止対策としての散水時の節水を励行する。
運搬車両 (担当者) 運搬部長	<ul style="list-style-type: none"> ・常に洗車方法を検討し、節水を励行する。

③ 受託産業廃棄物のリサイクル率向上

<通年実施>

事業場 (担当者) 業務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れた産業廃棄物の選別を徹底する。 ・これによりリサイクル率を向上させ、最終処分場への搬出量の削減を行う。
----------------------	---

④ 近隣地域の清掃美化

<通年実施>

事務所・事業場 周辺 (担当者) 総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜朝、毎月10日、25日に事務所・事業場周辺の清掃・美化に取り組む。 ・事業場内の緑化を行う。
--------------------------------	--

⑤ 埼玉県緑のトラスト基金への継続的な寄付による地域貢献

<年1回>

(2) その他の取組み

自社一般廃棄物排出量の抑制

<通年実施>

事務所・事業場 (担当者) 総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル資源となるもの(飲料容器・古紙等)を徹底分別し、「ごみ」としてこれらを排出しない。 ・使用済用紙の裏紙、使用済封筒を再利用する。 ・使い捨て製品(紙コップ・容器)の使用や購入を抑制している。
--------------------------	---

V 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1)当社の環境への負荷の低減・管理に対する評価および次年度の取組

経営計画	目標 ↓ 達成状況	経営計画の取組結果の評価	次年度の取組内容
1. 二酸化炭素排出量の削減 <事務所> ・消費電力の低減 <事業場> ・破碎機、重機の効率運転 <運搬車両> ・エコドライブの推進	基準年度の実績を維持 ↓ 電気使用量 △9.1% 燃料使用量 △4.4%	目標を達成できた 電気使用量・化石燃料使用量とともに目標を達成し、基準年度比ではCO2排出量の抑制が継続的に図られているが、対前年度比でみると、電気使用量は削減したものの、CO2排出量の89%を占める化石燃料使用量が増加したため、総体でCO2排出量は微増した。これは廃棄物の収集運搬受託量が好調で、延べ走行距離が増加したことが主要因であり、原単位との比較でみれば結果は概ね良好であると評価する。 <対前年度比伸び率> ・廃棄物収集運搬受託量：約13% ・化石燃料使用量：約2%	電気使用量は、熱中症対策や換気の励行（新型コロナ感染症がようやく落ち着き、徐々に平常を取り戻したとはいえ、一定の用心は当面必要である）による冷暖房効率の低下が通年の課題となっており、今後も削減基調を継続していくことは困難である。そのため設定目標は変更しないものの、目標達成を最低限の要求ととらえ、引き続き高い節電意識で工夫と努力を怠らないようにする。化石燃料使用量は、廃棄物の収集運搬受託量が好調に推移していくことが見込まれるため、増加は避けられないと考えるが、重機の効率運転と運搬車両のエコドライブを徹底し、効果的なCO2削減を図っていく。
2. 水使用量の削減 <事務所> ・節水の励行 <事業場> ・粉じん飛散防止の散水の節水の励行 <運搬車両> 洗車時の節水の励行	基準年度の実績を維持 ↓ △5.9%	目標を達成できた 年間使用量は前年度とほぼ変わらず、引き続き削減目標を大幅に下回る結果となった。処理作業時における散水の効率的な実施が大きく奏功していると考える。事務所においても各従業員が生活用水の節約に地道に努めており、それが結果に表れたものと評価する。	今後も取組みを継続していく。従業員に対して、粉じん対策のための散水方法や頻度の周知徹底を継続するとともに、事務所における節水や運搬車両の洗車時における節水を引き続き励行し、大幅な削減は難しいとしても、可能な限り抑制を図っていく。水使用量は、油断をすると飛躍的に増加しがちであることに、十分留意することが必要である。
3. リサイクル率の向上 <事業場> ・選別の徹底	目標50% ↓ 62.9%	目標を達成できた 本業である受託産業廃棄物の処理について、費用対効果のバランスをとりつつ選別作業を推進したことにより、リサイクル率がさらに向上（前年度実績59.8%）した。	今後も取組みを継続していく。リサイクル率は廃棄物の性状に大きく左右されるため、当面は50%以上を目指とし、実績の推移をみながら適正な目標値を検討する。さああたり前年度の実績を上回ることを目指し、そのためのスキルアップに努めていく。
4. 近隣地域の清掃美化 <事務所周辺> <事業場周辺>	目標 6~7回/月 ↓ 7回/月	目標を達成できた 定められた日に、欠かさず実施した。	一人ひとりが地域の一員としての自覚をもって誠実におこなっていく。
5. 寄付による地域貢献 <埼玉県緑のトラスト基金>	目標 1回/年 ↓ 1回/年	目標を達成できた 本年度も寄付を継続した。	引き続き寄付活動をおこなっていく。
<その他の取組み> ・自社一般廃棄物の排出量の抑制	—	前年度に比べ、年間排出量を約2%削減した。全員が意識を高くもって取り組んだ結果と評価する。	今後も気を緩めることなく取組みを継続していく。

(2)環境マネジメントシステム導入の評価

- ・法規制や、自主規制、環境への配慮などに関するチェック機能が強化された。
- ・電力使用量、燃料使用量、廃棄物量などの数量把握が定着し、削減への取組みにフィードバックしている。

周辺清掃活動の様子



感謝状(緑のトラスト基金)



VI 代表者による全体評価と見直し・指示



1	見直し関連情報 (環境管理責任者からの報告、改善、提案事項)	項目	確認
1	環境経営目標達成状況	①二酸化炭素排出量…電気・化石燃料使用量とも基準年度比目標を達成したが、対前年度比でみると、化石燃料使用量の増加により二酸化炭素排出量も増加した。 ②水使用量…基準年度比目標を達成し、対前年度比ではほぼ横ばいであった。 ③受託産業廃棄物リサイクル率…当面の目標である50%を大きく上回る実績を挙げた。 ④近隣の清掃美化…定期的かつ精力的に実施したことを見直し・確認した。 ⑤緑トラスト基金への寄付…実施した。	
		2 環境経営実施計画と取り組み状況	目標数値に対する進捗状況を定期的に確認・評価し、これを社全体に周知するとともに要改善点があれば具体的に指示をすることによって、従業員の取組み意識の持続・向上を促している。
		3 環境関連法規等の取りまとめ	関連法規の遵守状況を定期的に確認している。
		4 外部コミュニケーション記録	周辺の美化清掃活動を通して、地域住民との良好な関係の維持に努めている。
		5 是正・予防処置報告	特になし
		6 取引先、業界、関連行政等 外部動向	特になし
		7 の他	特になし

2	代表者による 全体評価・見直し指示	<全体評価・コメント>		
		見直し項目	変更の必要性	指示等
		1 環境経営方針	無	2023年度も引き続き現状の取組み姿勢を継続していく。
		2 環境経営目標	無	"
		3 実施体制	無	"
		4 環境経営計画・取り組み	無	"
		5 環境経営システム	無	"
		6 その他	無	"

VII 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 適用される主な環境関連法規

環境関連法規の名称	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	確認した結果、違反はありません
フロン排出抑制法	確認した結果、違反はありません
資源有効利用促進法	確認した結果、違反はありません
埼玉県生活環境保全条例	確認した結果、違反はありません
消防法	確認した結果、違反はありません
下水道法	確認した結果、違反はありません

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境法規則等の逸脱はありませんでした。
なお、関係当局よりの違反等の指摘等は過去3年間ありません。

以上